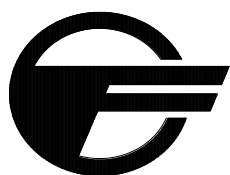


エコアクション21

環境経営レポート



撮影箇所: 高知県四万十町窪川 (令和6年度 窪川佐賀道路金上野改良工事)
ICTバックホウを使用し、CO₂の削減・使用燃料の削減に努めました。



FUKUHARA

Construction
Co.Ltd.

(対象期間: 令和6年1月～令和6年12月)
第15版 令和7年1月29日発行
初 版 平成23年8月28日発行



®環境省

エコアクション21

認証番号0007917

福原建設株式会社

目 次

1 .	事業概要	-----	1
2 .	対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	-----	2
3 .	環境経営方針	-----	3
4 .	環境管理組織体制	-----	4
5 .	環境経営への取組の全体概要	-----	5
6 .	環境経営目標	-----	6
7 .	環境経営計画	-----	9
8 .	環境経営目標の実績(総量・原単位)	-----	11
	年ごとの実績グラフ比較	-----	14
9 .	環境経営計画の取組結果とその評価	-----	18
	環境経営の取組状況	-----	19
10 .	次年度の取り組み		
	(1)環境経営目標	-----	23
	(3)環境経営計画	-----	25
11 .	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無		27
12 .	代表者による全体評価と見直しの結果	-----	29
13 .	SDGs達成に向けた経営方針	-----	30

発 行 日	令和 7 年 1 月 29 日
発行責任者	環境管理責任者 福原 悠斗
次回発行予定	令和 8 年 1 月 頃

1. 事業概要

【事業所名】 福原建設株式会社

【代表者氏名】 代表取締役 福原 紀夫

【所在地】

本社： 〒787-0033
高知県四万十市中村大橋通 7 - 1 3 - 3
資材倉庫： 高知県四万十市古津賀 3 0 4 2

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 工務部 福原 悠斗
連絡先担当者 同上
連絡先 TEL 0 8 8 0 - 3 4 - 2 2 4 4
FAX 0 8 8 0 - 3 4 - 2 2 4 6
Email yuuto.fukuhara-k06@beetle.ocn.ne.jp

【事業活動の内容】

建設業（主に公共土木工事(道路・河川)等の工事を行っています。）

建設業許可： 特定建設業 高知県知事許可

許可番号： (特-3) 第171号

許可年月日： 令和3年6月9日

建設業の種類：

土木工事業 とび・土工工事業

舗装工事業 しゅんせつ工事業

水道施設工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和30年4月1日

資本金 2,500万円

活動規模	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
売上高 (千円)	606,993	726,796	550,834	627,289
従業員数 (名)	21	22	21	21
本社敷地面積(m ²)	979.1	979.1	979.1	979.1
資材倉庫敷地面積(m ²)	15,587.7	15,587.7	15,587.7	15,587.7
事業所総敷地面積(m ²)	16,566.8	16,566.8	16,566.8	16,566.8
本社延べ床面積(m ²)	775.0	775.0	775.0	775.0
資材倉庫延べ床面積(m ²)	2,234.0	2,234.0	2,234.0	2,234.0
事業所総延べ床面積(m ²)	3,009.0	3,009.0	3,009.0	3,009.0

令和6年度の従業員数は、令和6年12月28日現在
会計年度(事業年度)1月～12月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

福原建設株式会社 全社
 本社 高知県四万十市中村大橋通7-13-3
 資材倉庫 高知県四万十市古津賀3042

【対象事業】 土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

【レポートの対象期間】 令和6年1月～令和6年12月

【環境経営レポートの発行日】 令和7年1月29日

【作成責任者】 環境管理責任者 福原 悠斗

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

環境経営理念

福原建設株式会社は、" 真心と技術で社会とお付き合い " の精神で地域社会の発展に尽力を注ぎ、建設工事を通して四万十川流域、地域の美しい海・山・川を守り人と自然の共生、生物多様性への配慮を基本姿勢とし環境活動に積極的に取り組み、継続的改善による環境経営を行って行きます。

環境経営方針

- 1) 事業活動における環境負荷の低減
建設工事における、設計・資材調達・施工・廃棄物処理の各段階において、環境負荷の少ない事業活動環境保全に取り組みます。
又は、環境に配慮した、設計・施工に取り組みます。
- 2) 二酸化炭素排出量削減
SDGs達成に向けた宣言書において、2030年までに2021年度比で10%削減する指標を掲げており、それに向かって燃料削減・節電等に努めます。
- 3) 廃棄物発生量削減・リサイクル実施
本社・建設工事における廃棄物発生量の削減及びリサイクルに努めます。
- 4) 水使用量削減（排水量削減）
本社・倉庫における水使用量の削減により排水量の削減に努めます。
- 5) 化学物質排出の配慮
建設現場における化学物質排出について配慮します。
- 6) グリーン購入の推進
事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。
- 7) 環境関連法規等の遵守
環境に関する法規・条例を遵守し、全社員に周知し環境保全に取り組みます。
- 8) 環境美化活動
地域周辺の環境に対する貢献やボランティア活動へ積極的に参加します。
- 9) 従業員への周知徹底
環境経営方針を達成する為、環境経営目標を設定し、全従業員が分担して取り組みと共に、定期的に見直し継続的な改善を図ります。
- 10) 環境経営レポートの公表
環境経営レポート等環境情報については、広く外部公表します。

改訂 令和4年12月28日

策定 平成23年4月15日

福原建設株式会社

代表取締役 福原 紀夫

4 . 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代 表 者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・環境経営システムの実施に必要な資源を準備 ・環境経営システム全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの承認
E A 2 1 推進室	・環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制原案を作成 ・環境目標活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの確認作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
部 門 長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施。記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営への取組の全体概要

当社は、「エコアクション2.1 建設業者向けガイドライン2017年版」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況> (令和6年1月～令和6年12月)

【電力使用量の削減】

令和4-5年度 四万十川初崎堤防(その1)工事にて前年と同様に自作のソーラーシステムを設置して電力使用量の削減に努めた。

【廃棄物の削減】

一般廃棄物の削減として古津賀倉庫内にゴミの分別箱を設置し再利用可能な分別を行った。

令和5-6年度 窪川佐賀道路見付改良工事においてメッシュ型枠を使用し型枠材の端材を無くし、産業廃棄物の削減を行った。

【環境負荷の低減】

○汚濁水の軽減

令和5-6年度 窪川佐賀道路見付改良工事において流末への沈砂池を設置し濁水の軽減に努めた。

令和6年度 窪川佐賀道路金上野改良工事において定期的に沈砂池の清掃をし軽減に努めた。

○防塵対策

令和5-6年度 窪川佐賀道路見付改良工事において路面の散水・県道出入口への水中ポンプによる散水・工事用道路への単粒度碎石敷き均しを行い軽減に努めた。

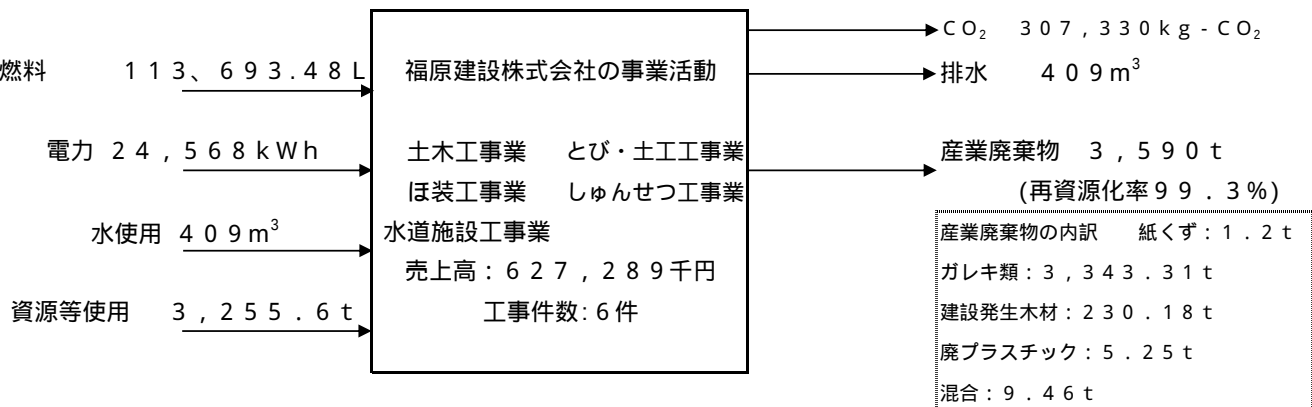
○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

・全作業所において、環境負荷の少ない材料・リサイクル材を使用し、環境負荷の削減に努めた。

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

・全作業所において、低騒音、排出ガス対策型重機を使用しました。

<福原建設株式会社の物質フロー> (令和6年度)



6 . 環境経営目標

(令和 6 年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2018～2020 実績平均	令和 6 年度 目標 令和6年1月～令和6年12月
売上高		百万円	425	400
燃料使用量			67,573	33,000
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,984	8,470
	原単位	(ℓ/百万円)	16	21
軽油使用量	総量	(ℓ)	60,097	23,900
	原単位	(ℓ/百万円)	141	60
灯油使用量	総量	(ℓ)	492	630
	原単位	(ℓ/百万円)	1.2	1.6
L P G 使用量	総量	(kg)	19	19
	原単位	(kg/百万円)	0.05	0.05
電力使用量	総量	(kWh)	17,731	22,500
	原単位	(kWh/百万円)	42	56
C O ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	182,019	95,722
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	428	239
用水使用量	総量	(m ³)	340	330
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	0.8
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	3,637	3,200
	原単位	(kg/百万円)	8.6	8.0
産業廃棄物排出量	総量	(t)	520	500
	原単位	(t/百万円)	1.2	1.3
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	95.3	95.0
グリーン購入	総量	(%)	80	80
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(4件/4件)100	100
環境美化活動	総量	(回)	15	12

* 1 . 電力の C O₂ 発生量については、電気事業者別の C O₂ 排出係数 (平成 2 9 年度実績)
購入電力の C O₂ 排出係数は平成 3 0 年 1 2 月 2 7 日公表の四国電力の調整後排出係数 0.535 (kg - C O₂ / k W h)
を使用した。

* 2 . グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合 (%)

* 3 . 環境負荷の少ない工事

- 環境負荷の少ない材料 (リサイクル材、県産品等) の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 型枠、工事看板への間伐材の使用
- 濁水防止対策の実施
- 環境に配慮した工事の提案

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2018～2020 実績（基準年）	令和6年度 目標	令和7年度 目標	令和8年度 目標
売上高		百万円	425	400	400	400
燃料使用量			67,573	33,000	32,500	32,000
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,984	8,470	8,200	7,900
	原単位	(ℓ/百万円)	16	21	21	20
軽油使用量	総量	(ℓ)	60,097	23,900	23,690	23,510
	原単位	(ℓ/百万円)	141	60	59	59
灯油使用量	総量	(ℓ)	492	630	610	590
	原単位	(ℓ/百万円)	1.2	1.6	1.5	1.5
L P G使用量	総量	(kg)	19	19	19	19.0
	原単位	(kg/百万円)	0.05	0.05	0.05	0.05
電力使用量	総量	(kWh)	17,731	22,500	22,400	22,200
	原単位	(kWh/百万円)	42	56	56	56
C O ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	182,019	95,722	94,448	93,124
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	428	239	236	233
用水使用量	総量	(m ³)	340	330	325	320
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	0.8	0.8	0.8
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	3,637	3,200	3,100	3,000
	原単位	(kg/百万円)	8.6	8.0	7.8	7.5
産業廃棄物排出量	総量	(t)	520	500	495	490
	原単位	(t/百万円)	1.2	1.3	1.2	1.2
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	95.3	95.0	95.0	95.0
グリーン購入	総量	(%)	80	80	80	80
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(4件/4件)100	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	15	12	12	12

(3) 売上高あたりの原単位 中長期目標値 (H30～R2年度 実績平均 を基準年とする。)

項目	単位	基準年 H30～R2年度 実績平均(A) H30.1-R2.12	R6年度 目標 R6.1-R6.12	R7年度 目標 R7.1-R7.12	R8年度 目標 R8.1-R8.12	R9年度 目標 R8.1-R8.12
燃料使用量	(ℓ/百万円)	159	83	81	80	80
電力使用量	(kWh/百万円)	42	56	56	56	56
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂ /百万円)	428	239	236	233	233

(対象年度)

【基準年 H30～R2年度 実績平均 の算出】

項目	H30年度 実績	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	H30～R2年度 実績平均
燃料使用量(ℓ)	67,946	71,669	63,104	33,803	36,324	42,050	113,693	56,192 (B)
電力使用量(kWh)	17,305	17,796	18,091	23,596	22,300	26,749	24,568	19,827 (B)
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	182,392	192,555	171,109	97,377	104,523	121,709	307,330	153,680 (B)
売上高(千円)	510,602	403,746	362,550	606,993	726,796	550,834	627,289	457,763 (C)

1. 【基準年 H30～R2年度 実績平均(A)】 = (各項目 H30～R2年度 実績平均 (B)) / (売上高 H30～R2年度 実績平均 (C)) で算出。

(売上高 H30～R2年度 実績平均 (C)) は、425百万円(425,632千円)を使用した。

7 . 環境経営計画

令和6年度

期間：

令和6年1月1日～令和6年12月31日

項 目		活動内容	担当者	期 間
C O ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	○ 建設機械などの定期的自主点検、施工開始前点検の実施	茨木、各現場代理人	R6.1～R6.12
		○ タイヤ空気圧の適正維持	茨木、各現場代理人	〃
		○ 排出ガス対策型建設機械の使用	茨木、各現場代理人	〃
		○ 建設機械の省エネ運転	茨木、各現場代理人	〃
		○ 各作業所へ車の乗り合せの実施	茨木、各現場代理人	〃
		○ 情報化施工による低燃費施工	茨木、各現場代理人	〃
	電力使用量削減	○ 不要照明の消灯・間引き照明の実施	戸田沙及び現場代理人	〃
		○ 冷暖房時の室内温度の厳守(冷房28 暖房20)	戸田沙及び現場代理人	〃
		○ 夜間、休日のパソコン、プリンターなどの主電源の停止	戸田沙及び現場代理人	〃
水使用量削減（排水量削減）		○ 社用車の洗車を必要最低限に留め、洗車をする場合は節水をする	各部門長及び現場代理人	〃
		○ 水道栓の閉め忘れ防止	福原美及び現場代理人	〃
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	○ 詰め替え可能製品の長期使用	各部門長	〃
		○ 使い捨て製品(紙コップ等)の使用や購入の抑制	各部門長	〃
		○ 商品購入時、簡易包装のものを優先購入	各部門長	〃
		○ 3S(整理・整頓・清掃)活動の実施	各部門長	〃
		○ 書類データ利用によるペーパーレス化	各部門長	〃
	産業廃棄物の削減	○ 一般廃棄物と産業廃棄物の分別の徹底	戸田沙及び現場代理人	〃
		○ 産業廃棄物は出来る限り再資源化業者に処理委託する	各部門長及び現場代理人	〃
グリーン購入		○ エコマーク商品の優先購入（事務用品、日用品等）	戸田沙	〃
		○ 古紙率の高いコピー用紙の購入	戸田沙	〃
環境美化活動		○ ロードボランティア活動	各部門長及び現場代理人	〃
		○ 現場での地域社会貢献	各部門長及び現場代理人	〃
環境負荷の少ない工事実施		○ 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用	各部門長及び現場代理人	〃
		○ 低騒音、排出ガス対策型重機の使用	各部門長及び現場代理人	〃
		○ 型枠、工事看板への間伐材の使用	各部門長及び現場代理人	〃
		○ 濁水防止対策の実施	各部門長及び現場代理人	〃
		○ 環境に配慮した工事の提案	各部門長及び現場代理人	〃

令和6年度 環境教育訓練計画/実績記録

令和6年度 環境教育訓練計画/実績記録																承認	作成		
																作成日	令和5年12月28日	福原 悠斗	福原 悠斗
																更新日	令和7年1月10日	環境管理責任者	
種類	対 象 者	目 的	内 容	頻度	責任者	スケジュール												備考(参考資料等)	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
一般教育	管理職	環境経営の戦略的重要性の自覚を高める	EA21の内容、環境問題の現状、環境経営の必要性	1回/年以上	環境管理者			○ ● 6日				○ ● 5日				○ ● 6日	エコアクション21ガイドライン2017年版。当社の環境経営方針。		
	全従業員	一般的な環境に対する自覚を高める	環境方針、環境目標、環境活動計画	同上	推進室			○ ● 6日				○ ● 5日				○ ● 6日	当社の環境経営方針。環境目標、環境経営計画。環境経営レポート。環境教育資料。		
			各自の役割分担と責任・権限		部門長			○ ● 6日				○ ● 5日				○ ● 6日	環境管理組織体制図。環境管理システム役割・責任・権限表。		
専門教育	部門長	法規制等に関する責任感を高める	法規制等順守の手順の徹底を図る	同上	環境管理者			○ ● 6日				○ ● 5日					当社に関連する環境関連法規制等。環境関連法規等の取りまとめ表。		
緊急時対応訓練	緊急事態への対応者	緊急事態発生時に適切に対応する	緊急時の対応手順書に基づく訓練で手順の適切性・有効性を確認する	毎年7月	環境管理者							○		● 24日			緊急時の対応手順書（BCP事業継続計画書に基づく）		
	適宜	外部教育への参加	環境活動に必要な外部教育、講習等への参加	適宜										● 12日			令和6年度 産業廃棄物適正処理 福原祐己・岡田輝明・茨木俊輔		

保管：EA21推進室 計画：○ 実績：●

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績(令和6年度)

項目	総量・原単位	単位	基準年 2018～2020 実績平均	令和6年度 目標 令和6年1月～令和6年12月	令和6年度 実績 令和6年1月～令和6年12月	実績値／目標値 (%)	評価
売上高		百万円	425	400	627		
燃料使用量			67,573	33,000	113,693	345	×
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,984	8,470	12,049	142	×
	原単位	(ℓ/百万円)	16	21	19	91	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	60,097	23,900	100,819	422	×
	原単位	(ℓ/百万円)	141	60	161	269	×
灯油使用量	総量	(ℓ)	492	630	826	131	×
	原単位	(ℓ/百万円)	1.2	1.6	1.3	84	○
LPG使用量	総量	(kg)	19	19	15	80	○
	原単位	(kg/百万円)	0.05	0.05	0.02	51	○
電力使用量	総量	(kWh)	17,731	22,500	24,568	109	×
	原単位	(kWh/百万円)	42	56	39	70	○
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	182,019	95,722	307,330	321	×
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	428	239	490	205	×
用水使用量	総量	(m ³)	340	330	409	124	×
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	0.8	0.7	79	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	3,637	3,200	163	5	○
	原単位	(kg/百万円)	8.6	8.0	0.3	3	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	520	500	3,590	718	×
	原単位	(t/百万円)	1.2	1.3	5.7	458	×
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	95.3	95.0	99.3	105	○
グリーン購入量	総量	(%)	80	80	80	100	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(4件/4件)100	100	(10件/10件)100	100	○
環境美化活動	総量	(回)	15	12	18	150	○

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(平成29年度実績)

購入電力のCO₂排出係数は平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535(kg-CO₂ / kWh)を使用した。

* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

○濁水防止対策の実施

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○法面緑化工事の実施

○型枠、工事看板への間伐材の使用

* 4. 評価は、100%以下「○」、100%以上「×」で評価する。

<環境経営目標未達成等理由>

港改修(防安重)第13-01-7号 下田港改修(地方)工事にて海水の排水する為に4吋の水中ポンプを何台も回すために発電機を工事期間中に一日中ずっと動かしていたので軽油を大量に使用した為例年に比べて増大し、重機の稼働も増大した為。

ガソリンも窪川の工事が続いていた為である。

電力については、現場が重なった時期があり

産業廃棄物の増加は構造物の取壊・伐採等の影響で大幅に増加した。

<過去の実績>

項目	総量・原単位	単位	2018～2020 実績平均（基準年）	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績
売上高		百万円	425	362	606	726	550
燃料使用量			67,573	63,104	33,802	36,324	42,050
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,984	5,410	9,374	8,201	8,971
	原単位	(ℓ/百万円)	16	15	15	11	16
軽油使用量	総量	(ℓ)	60,097	57,362	23,767	27,209	32,202
	原単位	(ℓ/百万円)	141	158	39	37	59
灯油使用量	総量	(ℓ)	492	332	661	914	876
	原単位	(ℓ/百万円)	1.2	0.9	1.1	1.3	1.6
LPG使用量	総量	(kg)	19.3	19.3	18.5	16	16
	原単位	(kg/百万円)	0.05	0.05	0.03	0.02	0.03
電力使用量	総量	(kWh)	17,731	18,091	23,596	22,300	26,749
	原単位	(kWh/百万円)	42	50	39	31	49
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	182,019	171,109	97,377	104,553	121,709
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	428	473	161	144	221
用水使用量	総量	(m ³)	340	357	897	365	381
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	1.0	1.5	0.5	0.7
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	3,637	8,400	5,800	725	200
	原単位	(kg/百万円)	8.6	23.0	10	1.0	0.4
産業廃棄物排出量	総量	(t)	520	93	1,156	733	2,628
	原単位	(t/百万円)	1.2	0.3	1.9	1.0	4.8
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	95.3	86.0	97.7	97.1	97.0
グリーン購入	総量	(%)	80	80	80	80	80
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(4件/4件) 100	(6件/6件) 100	(10件/10件) 100	(10件/10件) 100	(10件/10件) 100
環境美化活動	総量	(回)	15	12	12	16	16

(3) 売上高あたり原単位 (令和6年度)

< 原単位 (売上百万円当り) >

項目	総量		売上高	原単位 (売上百万円当り)				
	単位	基準年 H30～R2年度 実績平均	基準年 H30～R2年度 実績平均 (百万円)	単位	基準年 H30～R2年度 実績平均	R6年度 目標 R6.1-R6.12	R6年度 実績 R6.1-R6.12	達成率 (%)
燃料使用量	(ℓ)	67,573	425	(ℓ/百万円)	158	83	181	218.0%
電力使用量	(kWh)	17,731	425	(kWh/百万円)	41	56	39	69.6%
CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	182,019	425	(kg-CO ₂ /百万円)	428	239	490	205.0%

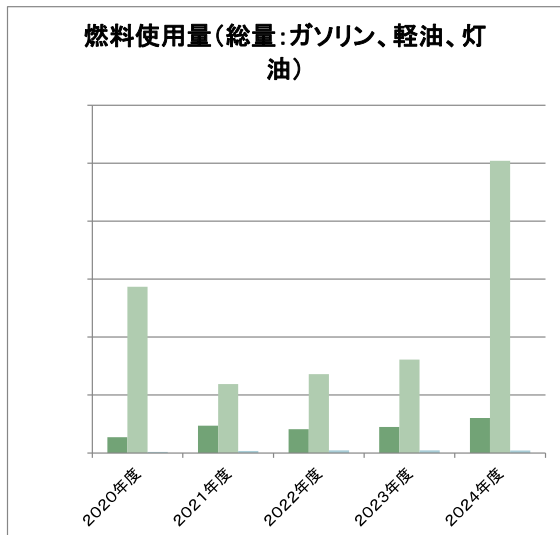
1. 原単位 (売上百万円当り) 年度実績 = 各項目使用量 / 年度売上 で算出
令和6年度売上高は、627百万円(627,289千円) を使用した。
2. 原単位 (売上百万円当り) 達成率 = (実績値 / 目標値) *100 (%) で算出

結 果

燃料を大量に使用した為にCO₂排出量と燃料使用量の原単位が増えた。

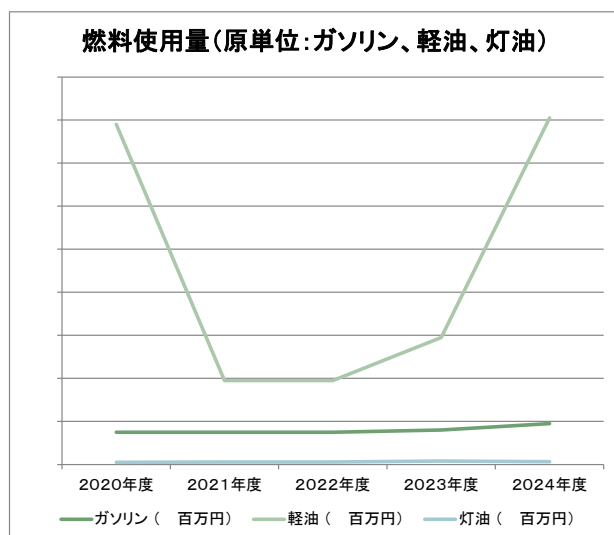
燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2020年度	5,410	57,362	332
2021年度	9,375	23,767	661
2022年度	8,201	27,209	914
2023年度	8,971	32,202	876
2024年度	12,049	100,819	826



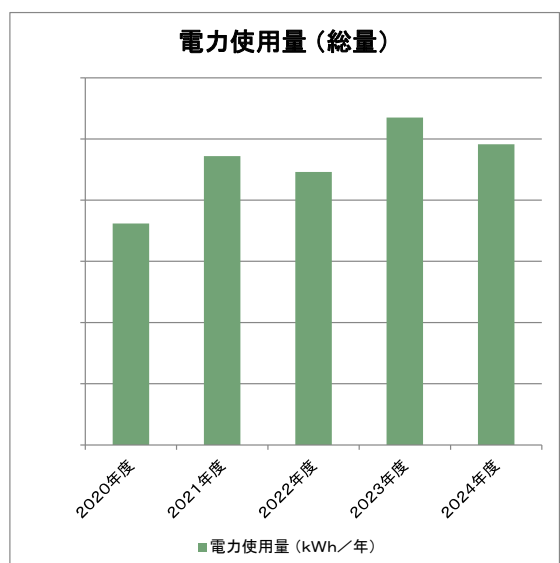
燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	灯油 (ℓ／百万円)
2020年度	15	158	1.0
2021年度	15	39	1.1
2022年度	15	39	1.1
2023年度	16	59	1.6
2024年度	19	161	1.3



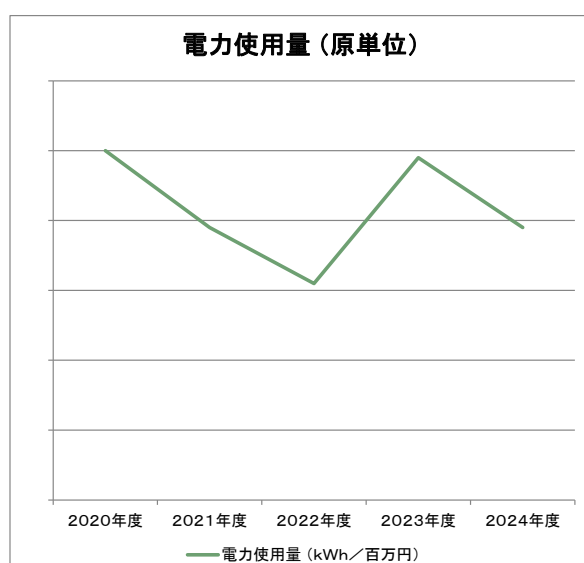
電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2020年度	18,091
2021年度	23,596
2022年度	22,300
2023年度	26,749
2024年度	24,568



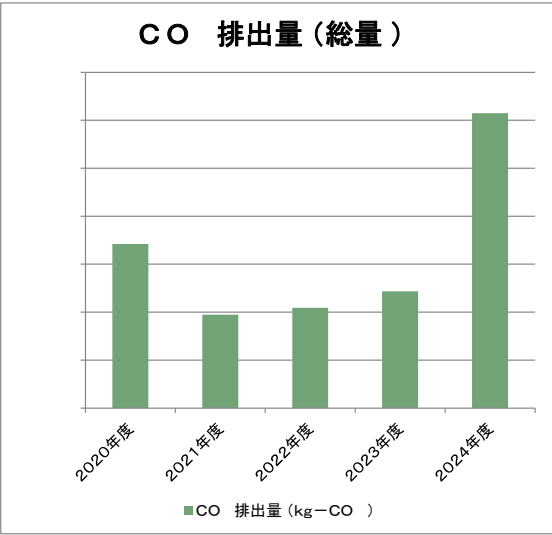
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
2020年度	50
2021年度	39
2022年度	31
2023年度	49
2024年度	39



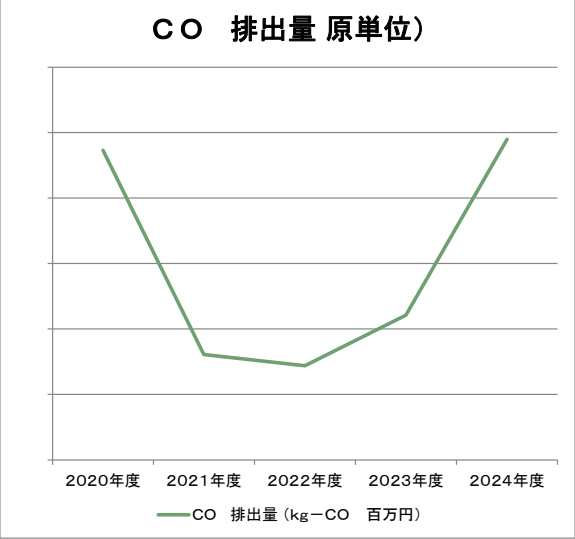
CO₂ 排出量（総量：（kg-CO₂）

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2020年度	171,109
2021年度	97,377
2022年度	104,553
2023年度	121,709
2024年度	307,330



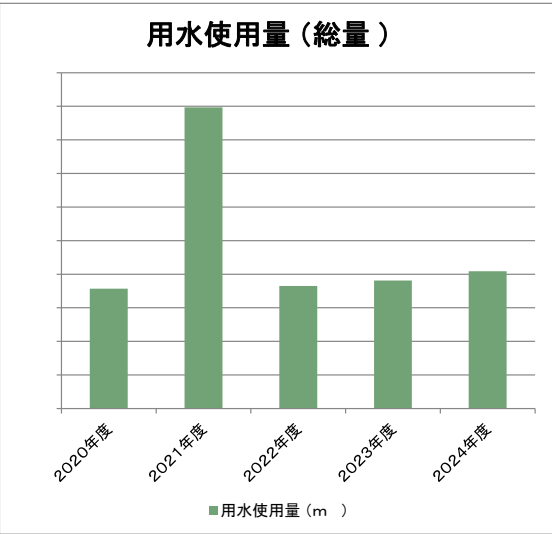
CO₂ 排出量（原単位：kg-CO₂/百万円）

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)
2020年度	473
2021年度	161
2022年度	144
2023年度	221
2024年度	490



用水使用量（総量：m³）

年度	用水使用量 (m ³)
2020年度	357
2021年度	897
2022年度	365
2023年度	381
2024年度	409



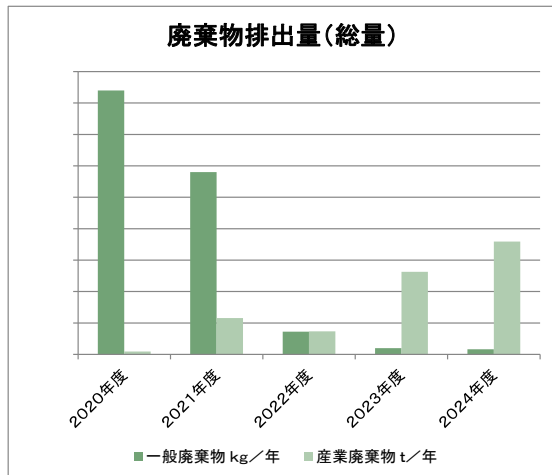
用水使用量（原単位：m³/百万円）

年度	用水使用量 (m ³ /百万円)
2020年度	1.0
2021年度	1.5
2022年度	0.5
2023年度	0.7
2024年度	0.7



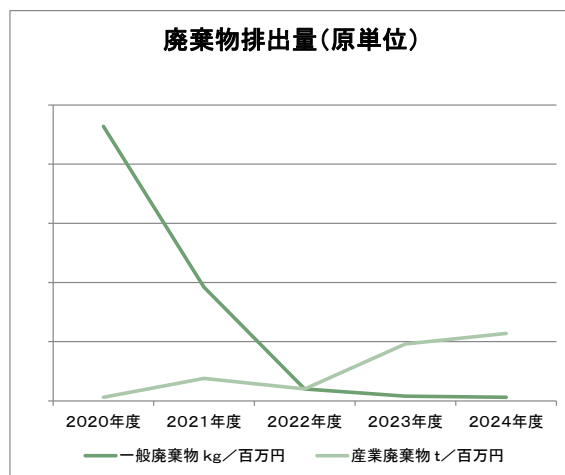
廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)
単位:一般廃棄物 kg/年
単位:産業廃棄物 t/年

年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 t/年
2020年度	8,400	93
2021年度	5,800	1,156
2022年度	725	733
2023年度	200	2,628
2024年度	163	3,590



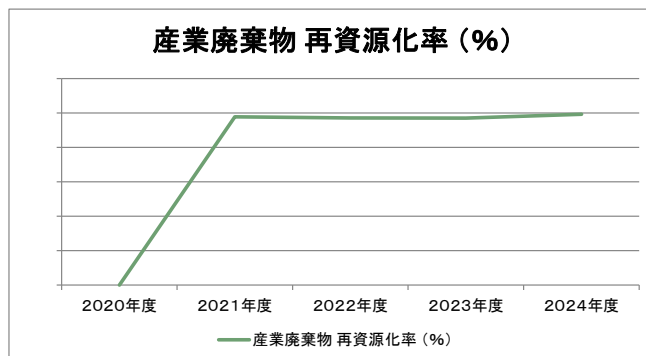
廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)
単位:一般廃棄物 kg/百万円
単位:産業廃棄物 t/百万円

年度	一般廃棄物 kg/百万円	産業廃棄物 t/百万円
2020年度	23.2	0.3
2021年度	9.6	1.9
2022年度	1.0	1.0
2023年度	0.4	4.8
2024年度	0.3	5.7



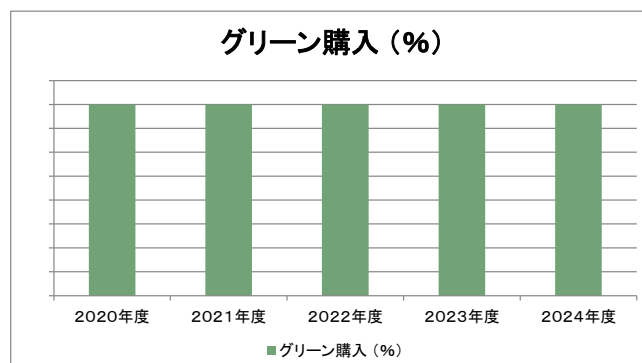
産業廃棄物再資源化率 (%)

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2020年度	86.0
2021年度	97.7
2022年度	97.1
2023年度	97
2024年度	99.3



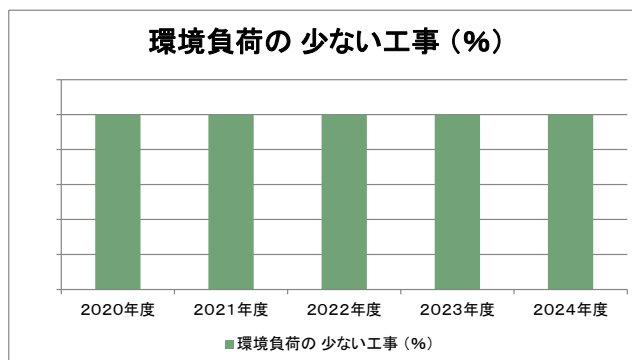
グリーン購入 (%)

年度	グリーン購入 (%)
2020年度	80
2021年度	80
2022年度	80
2023年度	80
2024年度	80



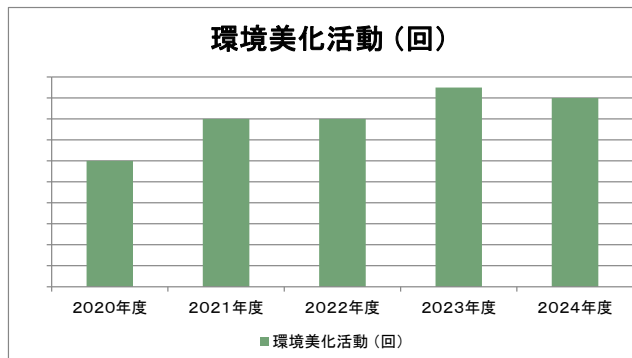
環境負荷の少ない工事(%)

年度	環境負荷の 少ない工事 (%)
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100
2024年度	100



環境美化活動(回)

年度	環境美化活動 (回)
2020年度	12
2021年度	16
2022年度	16
2023年度	19
2024年度	18



9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： R6年 1月 ~ R6年 12月

○ 評価点の算出（取組期間 1年の取組状況を各社員が自己評価し、集計結果を○、△、×で評価する。）

評価点： ○(良い、普通以上出来ている)、△(普通にはやや劣るが、出来ている)、×(あまり出来ていない)

項目	活動内容	評価点	取組結果	評価	見直し
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	○ 建設機械などの定期的自主点検、施工開始前点検の実施	・各活動が良好に取り組みされているがタイヤの空気圧のチェックを定期的に行う。	・良好に行えている。	・協力会社を含め取組を継続する。
		○ タイヤ空気圧の適正維持			
		○ 排出ガス対策型建設機械の使用			
		○ 建設機械の省エネ運転			
		○ 各作業所へ車の乗り合わせの実施			
		○ 情報化施工による低燃費施工			
	電力使用量削減	○ 不要照明の消灯・間引き照明の実施	・各活動が良好に取組まれている。	・良好に行えている。	・継続する。
		○ IT/CON温度の遵守(冷房28 暖房20) 設定温度ではなく室内温度			
		○ 夜間、休日のパソコン、プリンターなどの主電源の停止			
水使用量削減 (排水量削減)	○ 社用車の洗車を必要最低限に留め、洗車をする場合は節水をする	○	・各活動が積極的に取組まれている。	・良好に行えている。	・継続する。
		○ 水道栓の締め忘れ防止			
廃棄物削減	一般廃棄物の削減	○ 詰め替え可能製品の長期使用	・各活動が積極的に取組まれている。	・良好に行えている。	・継続する。
		○ 使い捨て製品(紙コップ等)の使用や購入の抑制			
		○ 商品購入時、簡易包装のものを優先購入			
		○ 3S(整理・整頓・清掃)活動の実施			
		○ 書類データ利用によるペーパーレス化			
	産業廃棄物の削減	○ 一般廃棄物と産業廃棄物の分別の徹底	・各活動が積極的に取組まれている。	・良好に行えている。	・引き続き継続し、産業廃棄物の適正管理に努める。 ・建設混合廃棄物の排出量を削減する。
		○ 産業廃棄物は出来る限り再資源化業者に処理委託する			
グリーン購入	○ エコマーク商品の優先購入(事務用品、日用品等)	○	・優先購入ができています。	・優先した購入が行えている。	・継続する。
		○ 古紙率の高いコピー用紙の購入			
環境美化活動	○ ロードボランティア活動	○	・ロードボランティア活動は月1回の実施は行えている。各作業所においても地域社会貢献も1回以上取り組んでいる。	・積極的な参加を行えている。	・継続する。
		○ 現場での地域社会貢献			
環境負荷の少ない工事実施	○ 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用	○	・各活動が積極的に取組まれている。	・各作業所において環境負荷の少ない工事実施が行えている。	・継続する。 ・工事において環境負荷の少ない工法等を検討し可能な場合、顧客に提案を行う。
		○ 低騒音、排出ガス対策型重機の使用			
		○ 型枠、工事看板への間伐材の使用			
		○ 濁水防止対策の実施			
		○ 環境に配慮した工事の提案			

環境経営の取組状況

(1) 電力使用量削減

現場における電力使用量削減



現場における電力使用量削減 自作ソーラーシステムの設置

工事名称: 令和4-5年度 四万十川初崎堤防(その1)工事

工事期間: 令和5年4月3日～令和6年3月29日

工事場所: 高知県 四万十市 初崎

ICTの精度向上の為に基準局へ電力供給を行うために自作のソーラーシステムを設置した。また作業日の作業時間のみ自動起動するように設定することで、無駄な電力供給を防止しています。

四国電力

最低料金: 最初の11kWh/カ月まで411.4円

11kWhを超え120kWhまで20.37円

発電量(1日) = $H \times P \times K$

$4.0 \times 0.05 \times 0.85 = 0.17\text{kWh}$

$0.17\text{kWh} \times 30\text{日/カ月} = 5.1\text{kWh}$

6カ月(180日) $\times 411.4\text{円} = 2,468.4\text{円削減}(30.6\text{kWh})$

※1: 気象庁の高知県全天日射量平均

(H): 1日あたりの平均日射量 $14.3\text{MJ/m}^2 \times 0.2278\text{kWh} = 4.0\text{kWh/m}^2$

(P): 太陽光発電のシステム容量(kW)

(K): 損失係数(太陽光発電が発電する上で発生するロス。

日本では0.85が多く使われる。

3. 廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減



ゴミの分別

(分別箱: R6年 4月設置)

古津賀倉庫内にゴミの分別箱を設置し、再利用可能な分別を行っています。

(2) 産業廃棄物



工事名称: 令和5-6年度 窪川佐賀道路見付改工事

工事期間: 令和5年9月1日～令和6年6月28日

工事場所: 高知県 高岡郡 四万十町 窪川見付

メッシュ型枠を使用することにより型枠材の端材を無くし、産業廃棄物の削減を行った。

5．環境美化活動



ロードボランティア活動（高知県）

本社周辺及び県道 333号線のロードボランティア活動を行い、道路の清掃活動を行いました。
(高知県ふれあいの道づくり支援事業)
(年12回実施)



現場での地域社会貢献

工事名称: 令和5-6年度 窪川佐賀道路見付改良工事
工事期間: 令和5年9月1日～令和6年9月13日
工事場所: 高知県 四万十町 窪川

定期的に現場周辺の草刈りを行い環境美化に努めた。



工事名称: 令和6年度 窪川佐賀道路金上野改良工事
工事期間: 令和6年9月17日～令和7年2月28日
工事場所: 高知県 四万十町 窪川



工事名称: 港改修(防安重)第13-01-7号 下田港改修(地方)工事
工事期間: 令和6年7月12日～令和6年12月16日
工事場所: 高知県 四万十町 窪川

現場周辺のゴミ拾いをし環境美化に努めた

6．環境負荷の少ない工事实施



工事名称:令和5年度 中筋川河床整正工事
工事期間:令和5年7月6日～令和5年11月30日
工事場所:高知県 四万十市

河床整正工事において、川への濁り流失を低減するためにオイルフェンス

防塵対策



工事名称:令和5-6年度 窪川佐賀道路見付改良工事
工事期間:令和5年9月1日～令和6年9月13日
工事場所:高知県 四万十町 窪川

防塵対策として路面の散水・県道への出入口に水中ポンプによる散水



砂埃の軽減として工事用道路への単粒度碎石の敷き均し



工事名称:令和6年度 窪川佐賀道路金上野改良工事
工事期間:令和6年9月17日～令和7年2月28日
工事場所:高知県 四万十町 窪川

町道への散水

濁水対策



工事名称: 令和5-6年度 窪川佐賀道路見付改良工事

工事期間: 令和5年9月1日 ~ 令和6年9月13日

工事場所: 高知県 四万十町 窪川

流末への沈砂池の設置



工事名称: 令和6年度 窪川佐賀道路金上野改良工事

工事期間: 令和6年9月17日 ~ 令和7年2月28日

工事場所: 高知県 四万十町 窪川

沈砂池の定期的な清掃

10. 次年度の取組内容

環境経営目標 (令和7年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2018～2020 実績平均	令和7年度 目標 令和7年1月～令和7年12月
売上高		百万円	425	400
燃料使用量			67,573	32,500
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,984	8,200
	原単位	(ℓ/百万円)	16	21
軽油使用量	総量	(ℓ)	60,097	23,690
	原単位	(ℓ/百万円)	141	59
灯油使用量	総量	(ℓ)	492	610
	原単位	(ℓ/百万円)	1.2	1.5
L P G使用量	総量	(kg)	19	19.0
	原単位	(kg/百万円)	0.05	0.05
電力使用量	総量	(kWh)	17,731	22,400
	原単位	(kWh/百万円)	42	56
C O ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	182,019	94,448
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	428	236
用水使用量	総量	(m ³)	340	325
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	0.8
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	3,637	3,100
	原単位	(kg/百万円)	8.6	7.8
産業廃棄物排出量	総量	(t)	520	495
	原単位	(t/百万円)	1.2	1.2
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	95.3	95.0
グリーン購入	総量	(%)	80	80
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(4件/4件)100	100
環境美化活動	総量	(回)	15	12

* 1 . 電力のC O₂ 発生量については、電気事業者別のC O₂ 排出係数(平成29年度実績)
購入電力のC O₂排出係数は平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535
(kg-CO₂ /kWh)を使用した。

* 2 . グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 3 . 環境負荷の少ない工事

- 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 型枠、工事看板への間伐材の使用
- 濁水防止対策の実施
- 環境に配慮した工事の提案

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2018～2020 実績（基準年）	令和7年度 目標	令和8年度 目標	令和9年度 目標	令和10年度 目標
売上高		百万円	425	400	400	400	400
燃料使用量			67,573	32,500	32,000	31,500	31,000
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,984	8,200	7,900	7,900	7,400
	原単位	(ℓ/百万円)	16	21	20	20	19
軽油使用量	総量	(ℓ)	60,097	23,690	23,510	23,230	23,040
	原単位	(ℓ/百万円)	141	59	59	58	58
灯油使用量	総量	(ℓ)	492	610	590	570	560
	原単位	(ℓ/百万円)	1.2	1.5	1.5	1.4	1.4
L P G使用量	総量	(kg)	19	19	19	19	19.0
	原単位	(kg/百万円)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
電力使用量	総量	(kWh)	17,731	22,400	22,200	22,100	22,000
	原単位	(kWh/百万円)	42	56	56	55	55
C O ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	182,019	94,448	93,124	91,830	90,562
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	428	236	233	230	226
用水使用量	総量	(m ³)	340	325	320	315	310
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	3,637	3,100	3,000	2,900	2,800
	原単位	(kg/百万円)	8.6	7.8	7.5	7.3	7.0
産業廃棄物排出量	総量	(t)	520	495	490	485	480
	原単位	(t/百万円)	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	95.3	95.0	95.0	95.0	95.0
グリーン購入	総量	(%)	80	80	80	80	80
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(4件/4件)100	100	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	15	12	12	12	12

(3)次年度の環境経営計画の取組内容

期間： 令和7年1月1日～令和7年12月31日

項 目		活動内容	担当者	期 間
C O ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	○ 建設機械などの定期的自主点検、施工開始前点検の実施	茨木、各現場代理人	R7.1～R7.12
		○ タイヤ空気圧の適正維持	茨木、各現場代理人	〃
		○ 排出ガス対策型建設機械の使用	茨木、各現場代理人	〃
		○ 建設機械の省エネ運転(100%にしない)	茨木、各現場代理人	〃
		○ 各作業所へ車の乗り合わせの実施	茨木、各現場代理人	〃
		○ 情報化施工による低燃費施工	茨木、各現場代理人	〃
	電力使用量削減	○ 4週8休の実施及び達成	戸田沙及び現場代理人	〃
		○ 冷暖房時の室内温度の厳守(冷房28 暖房20)	戸田沙及び現場代理人	〃
		○ 夜間、休日のパソコン、プリンターなどの主電源の停止	戸田沙及び現場代理人	〃
水使用量削減（排水量削減）		○ 社用車の洗車を必要最低限に留め、洗車をする場合は節水をする	各部門長及び現場代理人	〃
		○ 水道栓の締め忘れ防止	福原美及び現場代理人	〃
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	○ 詰め替え可能製品の長期使用	各部門長	〃
		○ 使い捨て製品(紙コップ等)の使用や購入の抑制	各部門長	〃
		○ 商品購入時、簡易包装のものを優先購入	各部門長	〃
		○ 3R(リデュース、リユース、リサイクル)活動の実施	各部門長	〃
		○ 書類データ利用によるペーパーレス化	各部門長	〃
	産業廃棄物の削減	○ 一般廃棄物と産業廃棄物の分別の徹底	戸田沙及び現場代理人	〃
		○ 産業廃棄物は出来る限り再資源化業者に処理委託する	各部門長及び現場代理人	〃
グリーン購入		○ エコマーク商品の優先購入（事務用品、日用品等）	戸田沙	〃
		○ 再生資源の積極的利用	戸田沙	〃
環境美化活動		○ ロードボランティア活動	各部門長及び現場代理人	〃
		○ 現場での地域社会貢献(各1回以上)	各部門長及び現場代理人	〃
環境負荷の少ない工事実施		○ 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用	各部門長及び現場代理人	〃
		○ 低騒音、低振動、排出ガス対策型重機の使用	各部門長及び現場代理人	〃
		○ 型枠、工事看板への間伐材の使用	各部門長及び現場代理人	〃
		○ 濁水防止対策の実施	各部門長及び現場代理人	〃
		○ 環境に配慮した工事の提案	各部門長及び現場代理人	〃

令和7年度 環境教育訓練計画/実績記録

承認	作成
福原 悠斗	福原 悠斗
更新日	令和6年12月27日
環境管理責任者	

種類	対象者	目的	内容	頻度	責任者	スケジュール												備考(参考資料等)
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
一般教育	管理職	環境経営の戦略的重要性の自覚を高める	EA21の内容、環境問題の現状、環境経営の必要性	1回/年以上	環境管理者			○				○				○		エコアクション21ガイドライン2017年版。当社の環境経営方針。
	全従業員	一般的な環境に対する自覚を高める	環境方針、環境目標、環境活動計画	同上	推進室			○				○				○		当社の環境経営方針。環境目標、環境経営計画。環境経営レポート。環境教育資料。
			各自の役割分担と責任・権限		部門長			○				○				○		環境管理組織体制図。環境管理システム役割・責任・権限表。
専門教育	部門長	法規制等に関する責任感を高める	法規制等順守の手順の徹底を図る	同上	環境管理者			○				○						当社に関連する環境関連法規制等。環境関連法規等の取りまとめ表。
緊急時対応訓練	緊急事態への対応者	緊急事態発生時に適切に対応する	緊急時の対応手順書に基づく訓練で手順の適切性・有効性を確認する	毎年7月	環境管理者							○						緊急時の対応手順書（BCP事業継続計画書に基づく）
	適宜	外部教育への参加	環境活動に必要な外部教育、講習等への参加	適宜														

保管：EA21推進室 計画：○ 実績：●

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(環境関係法規)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部門 担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び 清掃に関する 法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任 において適正に処理	必要時	工務部 福原 悠斗	遵守	令和7年1月16日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	工務部 総務部	遵守	令和7年1月16日
	第12条の 10、11項	多量排出事業者（年間1,000t以上） の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	総務部 戸田 沙織	遵守	令和7年1月16日
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物 排出時	工務部 現場担当者	遵守	令和7年1月16日
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	1回/年 毎年6月	総務部 戸田 沙織	遵守	令和7年1月16日
	第14条	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可 （5年毎に更新）	期限切れ 3ヶ月前	総務部 戸田 沙織	遵守	令和7年1月16日
	第14条の一 12項	産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分		工務部		
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	工務部	遵守	令和7年1月16日
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	工務部 現場担当者	遵守	令和7年1月16日
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	工務部 現場担当者	遵守	令和7年1月16日
資源の有効な 利用の促進に 関する法律 （リサイクル法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コン クリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	工務部 現場担当者	遵守	令和7年1月16日
建設工事に係る 資材の再資源化 等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建 設資材を使用する努力	必要時	工務部 現場担当者	遵守	令和7年1月16日
	第12条	○対象建設工事の届出に関わる事項の説明 （発注者に対しては書面を交付）				
	第12条2	○下請工事に対しては下請契約締結前に 当該工事の届出事項を告知				
	第16条	○再生資源化等の実施				
	第18条	○発注者への完了報告 （再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書）				
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長 への許可 第1石油類 ガソリン：200ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	工務部 現場担当者	該当なし	令和7年1月16日
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵）	必要時	工務部 現場担当者	該当なし	令和7年1月16日

オフロード法	第4条2	○特定特殊自動車排出ガスによる大気汚染防止 (平成18年10月以降に製作された建設機械については基準適合表示の貼ってあるものを使用)	必要時	工務部 現場担当者	遵守	令和7年1月16日
水質汚濁防止法	第14条の6 第14条の7	○生活排水対策の実施に協力 ○生活排水による汚濁の負荷の低減に資する設備の整備	必要時	工務部 現場担当者	遵守	令和7年1月16日
グリーン購入法	第5条	○物品の購入時にはできる限り環境物品等を選択するものとする	必要時	工務部 ・総務部	遵守	令和7年1月16日
省エネ法	第4条	○エネルギーの使用の合理化	必要時	福原 悠斗	遵守	令和7年1月16日
不正軽油の使用禁止	特記仕様書	○不正軽油の使用禁止	必要時	福原 悠斗	遵守	令和7年1月16日
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、排水渠等の設置	必要時	福原 悠斗	遵守	令和7年1月16日
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第16条	第一種特定製品について ○定期点検の実施(簡易点検は全て) エアコン:7.5kW以上50kW未満 エアコン:50kW以上 冷蔵庫・冷凍機:7.5kW以上 ○空調機の簡易点検の実施	1回/3年 1回/年 1回/年 1回/3ヵ月	福原 悠斗	遵守	令和7年1月16日
大気汚染防止法 (解体工事)	第18条の17	解体工事受注者は、石綿使用の有無について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明するとともに、その結果等を解体等工事場所へ掲示	必要時	工務部 現場担当者	遵守	令和7年1月16日

(条例)

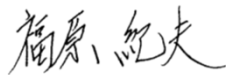
法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部門 担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条 第7条	○事業活動に伴って生ずる公害を防止し、又は自然環境を適正に保全する為、必要な措置を講ずる 日常生活に伴う環境への負荷の低減	必要時	福原 悠斗	遵守	令和7年1月16日
四万十市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	福原 悠斗	遵守	令和7年1月16日
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	福原 悠斗	遵守	令和7年1月16日
四万十市 四万十川の保全及び振興に関する基本条例	第7条	○景観保全に関する届出 ・土石の採取 ・盛土、切土による土地の形状変更 ・屋外において土石、廃棄物、再生資源、再生部品の蓄積、貯蔵する行為 ・天然林を伐採し、スギ・ヒノキの植樹 ・看板、広告板、ソーチライト照明等の設置	必要時	工務部 現場担当者	遵守	令和7年1月16日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和5年1月1日 より 令和5年12月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。
過去3年間の環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

12. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果

☒ 定期見直し
☐ 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 環境関連法規制等の遵守状況 令和6年1月1日より令和6年12月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。 問題点の是正処置及び予防処置の状況 令和6年1月1日～令和6年12月31日までの間、是正処置となるものはありません。 令和6年1月1日～令和6年12月31日までの間、予防処置は、4件行っています。 前回までの代表者の指示事項への対応 <改善提案>				【環境経営方針】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 現状のまま維持する。	
【目標・環境経営計画の達成状況】				【環境経営目標・環境経営計画】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 産業廃棄物等が大幅に目標値を超えているので分別等を行い、減らすようにする。 再資源化率は達成出来ている。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	【環境管理組織体制】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 現状を維持する。	
燃料使用量(ℓ)	×	○	ICTを活用し減らすよう努める	現状を維持する。	
電力使用量(kWh)	×	○	冷房暖房の使用を控える		
C O ₂ 排出量(kg-CO ₂)	×	○	減らすよう努める		
水使用量(m ³)	×	○	問題無し		
一般廃棄物排出量(t)	○	○	問題無し		
産業廃棄物排出量(t)	×	○	増加したが再資源化出来ている		
産業廃棄物再資源化率(%)	○	○	問題無し		
グリーン購入量(%)	○	○	問題無し		
環境美化活動(件)	○	○	問題無し		
環境負荷の少ない工事(%)	○	○	問題無し		
<改善提案> ・水使用量について本社4F無関係の人とメーターが一緒なので会社がどれだけ使用しているか不明なためメーターを分ける必要がある。				【その他】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 ・無し。	
【周囲の変化の状況】 外部コミュニケーション記録より ・令和6年1月1日～令和6年12月31日までの間、外部からの苦情・要望はありませんでした。 環境関連法規制等の動向他 ・無し。 <改善提案> ・無し。				【総括】 ・環境教育訓練を全従業員への頻度を増していけば、周知が全社員に浸透すると思われる。 ・環境負荷の少ない工事実施100%継続的に実施できる対応策を常に意識した施工を。	
代表者が自ら得た情報 ・令和6年度補正予算分工事、国交省発注分が昨年以上に発注される見通し。 工程、工事場所により大きく目標値が変わる可能性があるので注視を。				令和7年1月24日 代表取締役 	

13. SDGs達成に向けた経営方針等

“真心と技術で社会とお付き合い”の精神で地域社会の発展に尽力を注ぎ、地域の美しい海・山・川を守り、人と自然の共存、生物多様性への配慮を基本姿勢とし、心身ともに健康な、ワーク・ライフ・バランスの実現と、持続可能な地域社会のより良い環境の実現に貢献してまいります。

SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
CO ₂ 排出量削減	CO ₂ 排出量10%削減 2021年：97t→2030年：87t
従業員が心身ともに健康を維持し、 ワーク・ライフ・バランスの 長期継続推進	有給休暇取得率100% 2021年：75%→2030年：100%
ダイバーシティ経営による 多様な人材の雇用率増加	外国人、障害者、高齢者等の雇用比率 増加 2022年：5%→2030年10%